

2014年度 出向報告書

公益社団法人日本青年会議所
災害・復興支援委員会 委員
吉原 章一

1. 事業内容

(1) 2014年度京都会議「防災・減災セミナー」

災害支援の現場で発生する困難な状況を題材とし、実際の災害支援の現場で判断を求められる問題についてグループ内で意見交換ことにより、自分と異なる意見・価値観の存在への気づきや組織が的確な意思決定をするために必要な情報、前提条件に関する理解を図りました。

(2) 防災ネットワーク構築プロジェクト

平時から災害を未然に防ぐと共に有事に起こり得る被害を最小化できる仕組みづくりを行い、被災地のニーズを迅速かつ的確に把握し、効率的・効果的な地域支援を実現するために、行政・社会福祉協議会・各種団体との防災ネットワークの拡充・強化を図りました。

(3) 復興創造フォーラム2014 「防災フォーラム」

協働型災害ボランティアセンターに関する実践型プログラムを通して、平時に備えるべきことや災害発生後に想定されることについて考え、災害ボランティア支援体制に関する理解を深め、災害時に多くの人が実働できる防災ネットワークの拡充・強化を図りました。

(4) JC-AID販売推進

JC-AIDを推進し、多くの人に発動の際の動きを認識していただき、まだ見ぬ災害に対して自分だけでなく、他の被災地も助ける自助・共助の意識醸成を図り、利他心を一人でも多くの国民が備えた社会となるように運動を行いました。

(5) 2014年度に発生した災害の状況対応について

2014年度に発生した災害時における救援相互運営規程に基づく支援や各種団体との支援に関する連携状況を理事会及びブロック会長会議にて報告すると共に、各地の災害における教訓を活かし、多くの人が実働できる防災ネットワークの拡充・強化を図りました。

職務分掌

- ① 多くの人が実働できる防災ネットワークの拡充・強化
- ② 全国ネットワーク・各種青年団体及び各ボランティア団体との連携
- ③ JC-AIDの普及推進

2. 所感

人が成長するにあたって多くの人に出会うということの大切について身をもって体験することができました。自己の成長ために、若いメンバーに積極的に出向していただきたいと思います。2014年度の出向に対し、後押ししていただきました佐田直人理事長をはじめとする長岡JCスタッフの皆様、そして長岡JCメンバーの皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。最後に一年以上に亘って共に活動しました佐藤英次副委員長、渡邊辰太郎君、水澤元博君、松本光央君、上村英輔君、渡邊慎太郎君、本当にありがとうございます。楽しかった！一緒に出向できたことに本当に感謝いたします。